京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郞
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

内外應酬

一記者

（又）京城の韓婦人。第三の理由として擧げたいのは、韓婦は女々しくない、勿論中には女々しいのも有らうであらうが大多數の婦人は日本人の眼から見ると野獸の如うにも見ゆる場合がある、抑も婦人の女々しいのは其天性で、其天性を修飾せざるもの丶其のまゝの發露が即ち女の性の女々しいと貶されつつも、其處が又婦人の美質である、これ有ればこそ人間の世の調和が保てるなれどは新らしい說でも何でも無い、然るに韓婦人には女々しいてふ、時に或は邪魔にはなるもの丶、同時に又婦人の美質なる女々しさが無い、人間だもの、女だもの其の腹を痛めた子を憎く思ふ筈は無いが、去りとて日本の婦人が有する如き愛着心などは甚だ深く無いので、子煩惱などは寧ろ父親の方に多いのである、死兒の齡を數ふるやうの事は蓋し萬が稀れであらうと思はれる、だから韓人の家庭は中々に嚴格なもので、如何なる腕白も親に向つて實に柔順である、これは韓國に於ける一種の敎風が然らしむる處でもあらう、去りながら其の第一の理由は母親が所謂親馬鹿の甘やかしを爲ぬからである、實に母親は其兒に對して嚴重であるばかりでなく、子を持てる女は世間の男の眼には贓物の如うにも思はれるのである、誠に子に對してすら愛着心の甚だ强からざる婦人に取りて、三千世界に恐ろしいものがあるべき理由があるべきでない、否寧ろ如何に溫順らしき女でも一朝事に激して暴れ狂ふ時は恰も野獸のやうになるのを時々見受けることがある、叙上は韓國の婦人として大体に就て陳べたのであるが、京城の婦人は什麽かといふに、前記の婦人を骨にして、其自尊心と野性とを削り去り、其代りに虛榮心を加へて、之れに幾分の自覺の色を着けたものといふことが出來やう、但し虛榮心も自覺も唯異に痕跡を止むるのみである、其の彼等を此處に導ける理由は國の首府に住むれ條を以て生活難を知ること他の地方よりも多く、又其生活難の中にも多少の興味を感ずべき種々の機會に遭遇するの勢ひ、其自尊心を去り、野性を抑ゆることになつた、然らば其多少の自尊虛榮心は那邊から發生し、自尊心性は如何に[illegible]されつ丶あるかを[illegible]う、

世界無比の隧道

京釜鐵道には釜山より京城に至る二百七十餘哩の間に廿七の隧道を有し又京義線即ち龍山より新義州間三百十哩間には約廿の隧道あり之れを合すれば兩線五百八十哩に約五十の隧道を有し全線に十一哩强毎に一隧道を見る次第なるが更に右二線が過般の條約に依り不日着手せらるべき鴨綠江の架橋工事に依りて安奉線に連絡するに至らば改築後の全線には約三十個の大隧道を掘鑿することゝなり居れば安奉線完成後は釜山より奉天に至る約七五十哩の間に約百箇に近き隧道存在するに至るべく全延長に於て廿哩弱毎に一箇の隧道を見る次第にして斯の如きは世界各國に於ても多く其の比を見ざるべしと

柳皮の利用

社會の進運に伴ひ紙の需用洋の東西を問はず益盛にして日時料の不足を來し種々研究の結果米國ては砂糖黍の搾糟國に於ては粳殼蒿等を應用する等何れも其原料を發するに汲々たり茲に韓國に於て紙料として有望なるは杞柳なり此程の生育極て簡易にして一年七月及十月二期收獲を得且つ如何なる瘠土にも適し且つ一時浸水に耐ふるの特性を有すを以て水邊浸水の荒蕪地にも栽培さべき極て重寶なる性質を備ふるが韓は既に知る如く柳行李の原料とし一の材料たるのみならず其外皮は極良質なる紙の原料に適し藁繊維以上品質を有し殊に桑皮に比すれば既李使用の必要上既に剝離し居れば一の手數を省くの利あり是に就き群山模範場及工業傳習所は充分の試驗遂たるものならしと

三南の製紙（上）

慶南地方は古來紙の產地て其名著し今其主要二三地の狀況を介せん

▲晉州 は本道中の一大にして人口八千五百を容れ製紙を古來其名高し城外には往昔官營製紙場に使用されたりし製紙用石臼の一部今尚は遺存せり製紙業は往時の盛觀を存せざるも宜寧、山淸、三嘉、河東、陝川、咸陽、莫溪等は今尚主要產地なるが近來京城紙商の預約買賣は漸く大邱に移り爲めに晉州は次第に衰退の傾あり市場は城內外に設けられ陰曆一、四兩月隔番開市毎市賣買額は十塊乃至二十塊價額は百圓乃至六十圓を往來せり

▲製產地 本道中主なる產地は宜寧にして山淸、三嘉是に次ぎ陝川、莫溪、河東、丹城等なり就中宜寧產紙は品質强靭にして淸國に需要を有し一箇年の產額山淸は三万束三嘉は二萬四千束とす其種は窓戶紙、油衫紙、見樣紙、貨物紙、壯紙、張板紙等にして其紙質及大小は各地同一ならず

▲原料 は各郡到る處に栽培さるも就中宜寧、莫溪、陝川等の生產最も多く他莫溪陝川は莞草を播種栽培し河東金海地方は蘆田に富むを以て需用の如き原料として適當なる莞草生育は頗る研究の價値あり晉州地方に於ては乾燥楮皮百兩匁にして產地の時價五圓內外とす製造時期は陰九月より翌四月に至る間最も盛なり

▲製造組織場改營業方法 未だ會社組織存せざるも個人營業組合營業相半し製造器具一切を設備し製造人に貸附の者、設備製造幷業する者及單に資本のみを提供する者の三種に亘れり製造設備を有する者を桶主と稱し製造者を紙民といふ紙民は原料自辨にして白紙一塊（二千張）に對し百張乃至百二十張を納付す（未完）

●京城管區產業好況

近來賊徒の漸次鎭靜に歸せると逐次警察機關の具備するに從ひ產業の發展大に好況に向へるは喜ぶべき現象なるが今其筋に就き聞き得たる所によれば江華島の農民は共同して陸稻、水稻の種籾各二石を日本より取り寄せ江陵郡守の首唱に依り設立されたる模範農場も又各種の種子を日本に仰ぎ農作物の改良に餘念なく京城水原龍山鍾原等の實業傳習所は入所希望者非常に增加し陽智郡若宋鍾賢は日本人敎師を聘して二十有余の生徒に蠶業を傳習せしめ又鑛業に至りては京城稻葉組は黃海道白川郡栗浦に於て砂金を採取するに日本人二十余名を使役し江原道旌善郡に於ける十箇所の砂金鑛は暴徒の爲中止し居たるも今回再び採取に着手し何れも相當の收益あり春川郡陽德院の砂金は土万坪に亘り五十の人夫を使役して採取し京城協同殖產組合の經營に係る春川郡北面の砂金は三月以來三百內外の人夫をして盛に採取しつゝあり尙目下採取出願中のもの十數箇所に及び三陟郡見朴面の石炭は品質不良の爲採掘を中止し江華島に於ける石材は益々販路擴張せられ四月中の切出總高四千方尺に達したりと以て一般を窺ふに足るべし

●牙山灣の航路狀況

牙山灣に沿へる泰安、瑞山、沔川、海美諸郡は土地肥沃にして米產に富み殊に一帶の沿岸は到る處鹽を產し現在留日本人は泰安に十八瑞山に五十人他海美沔川兩郡に亘り諸所に點在し同沿岸地唯一の交通及運輸機關としては三省丸なり然るに近海に到り汎く同灣航路の有望なるを世間に唱へらるゝに至るや利に敏き海運業者は貨物の好期をトして臨時出航を試むる者鮮からざるより同船主は其筋に對し特別指定を稟請したりしも又も同業者の濫請となり何れも[illegible]取らずに終りしとの事なるが同灣沿岸は上叙の如く從來頗る有望の地にして殊に京仁にも遠からず日人の發展上好個の場所なれば三省丸に限らず相當資格を有せる者を選び特命航路を許可する事は實に急切なるべしと當局に於ても認め居れりと

●濟州島の海人激增

濟州島に於ける海人漁業者は兩三年前迄では千人內外に過ぎざりしが近來著しく增加して實にその數三千人の多數に及びたり之れ等は多く釜山近海を中心として南は巨濟島北は蔚山沿岸の間に於て盛に天草銀杏草等の採取に從ひ是等曖昧の漁民は風紀衛生等の念なくつゝ巨多の利益を占めつゝあり然るにかくては折角の發展も勢ひ阻碍せらるゝの外なければとして濟州島居住有志韓人周昌會と稱するものは一種の組合を組織し本部を牧の島に置き支部を巨濟島及び蔚山に設けて多數海人の取締救濟に任せんと目下釜山水產組合本部に對して申請中なりと云



第百十四席 津田近江之守（十八）

邑井一講演

助「ウム、成程」直「所が御主人はなかなか堪忍深い人で何とも言はず其場を退ぞいてれ歸りになりました、之れを見て同輩の人々は意氣地なしと云ふものもあれば又た褒める人もある、スルと其晩何時になく酒が飲みたい、買つて來いと言はれますから珍らしい事だと思つて買ひに往くと酒屋に中間の奴が酒を吞んで居て私の主人の噂をして居る、私に向つてれ前の處の旦那はれ人好しだ、今日城內で是々だと云ふ噂、私は之を聽いて立つても居ても堪りません、一つ大阪へ出で奉公をして五十兩と百兩の金を整のへ、好い刀を買つて上げたいと思ひ、屋敷へ歸つて旦那に伊勢參宮をするから、御暇を願ひたいと、突然に願ひました、所が旦那が大變怒つて、小供の中から育てた貴樣が、何で急に暇を取るのだと申されましたけれど、何も打明けずフイと屋敷を飛出し、此大坂へ來て見ましたが奉公するには受人はなし、彼方此方徘徊して通り掛つた親方さんれ宅の前でカンカンと音がします、覗いて見ると刀鍛冶、急に氣が變つて、出來ることなら刀鍛冶になつて立派な刀を拵へて夫れを土產に主人岡島樣へ持つて歸り、其刀で家老の大野と云ふ奴に先年受けし恥辱を御雪ぎなさるやう致したいと云ふ積りで、れ弟子入を願ひました所、早速にれ聽濟み下して有難う存じます、そこで私は一心に成つて刀の鍛てるやうにならうと、斯うやつて永らく御厄介になつて居るのでございます、決して私は僞りは申しません」津田越前守助廣之れを聽いて感心致し、助「オーさうであつたか、夫れで漸く分りました、イヤ人間の一心と云ふものは怖いものだ、實は私はれ前は何處かで充分な修業をして居るのに、何か秘傳を私の處に竊みに來たと斯う思つた、十年も私の家に居る奴でさへれ前の三年にも敵はない、感心だ、此越前守が引受けて、乾度れ前を新刀鍛冶の何の守と云ふ迄に仕込で見せる、れ前は必ず立派な刀鍛冶になれる、何うだ私の願ひぢやに依つて、私の養子になつて與れ、さうして娘のれ春と夫婦になつて與れ、イヤでもあらうがれ春を妻にして貰ひたいものだ」直「ド、ド、ド何う致しまして、手前のやうな者が何で師匠樣の御養子になれる者ではございません」助「イヤ今直ぐに成つて與れと云ふのではない、此一年二年と辛抱をして果して立派の者になれたら、其時になつて貰ひたいのだ、其代り私が相鎚を打つて立派な刀を拵へてやるから其刀を土產に持つて國へ歸つたら宜からう、さうして末始終は大坂に居て、名前を天下に上げるやうにして貰いたいものだ、是を聽いた直助はホロリホロリと涙を流しまして」直「イヤもう刀さへ土產に持つて歸れゝば其外に望みはございません私風情の者でも出來ますることなら宜しく願ひます」助「早速承知して與れて忝ない、何しろ氣を緩めずに修業したら宜からう」とあるから是れから直助は益々一心になり、勉强を致しましたので、腕前がメキメキと上達をして、遂に湯加減水加減の秘傳を授り、越前守の養子となつて、津田近江守助直と名乘りれ春と婚禮をしました世間の評判では父の越前守より養子の近江守の方が評判が好い、助直の方が横座に座つて仕事をすれば確かであると云うやうになつた、そこで朝廷より天子樣の御佩刀一振を打てと御命令が下つた、是れが非常に名譽のことで若し此の刀が御採用になればもう立派な者だ、日本全國何れへ往つても恐れる處はない、助直は精進潔齋して鍛ね上げたる一刀實に見事に出來た、早速朝廷へ差出しまするど、直ぐに御採用に成りました



東京電報

▲東拓の配當可決　東洋拓殖會社總會は十四日午後一時より東京商業會議所に於て開會年六歩の配當案を可決したり（十五日）

▲工場法案の成行　日本工業協會に於ける工場法案調査方針は本月下旬總會を開きたる上決定する筈なるが成るべく農商務省の調査方針と大差なからしむる由にて委員を名古屋大阪等の重なる工場に特派し實地調査せしめ規則の制定に着手する筈にて工場の除外例を設くる筈

▲通信協會組織變更　昨日の遞信官吏局長會議に於て通信協會の組織を變更し擴張の上財團法人と爲し且つ名稱を遞信協會と變更すると決定せり（同上）

▲商船學校長の後任　平山校長逝去の爲め商船學校長後任として休職海軍大佐小栗孝三郎氏任命せらるべしと内定したりと（同上）

▲皇太子殿下御通勤　皇太子殿下には今後毎週火金の二日間は參謀本部に御出勤實際軍務を執らせらるゝ事に決定相成りたり（十六日）

▲小島陸軍少將豫備　前營[illegible]長陸軍少將小島好門氏は豫備役仰付けらる　同上

▲奥特命檢閲使出發　第十五、十六師團特命檢閲使奥大將以下大島少將其他の隨員は來る二十日新橋發靜岡に向ふべし（同上）

歐州電報

▲各國皇族の參列　來る二十日故英國皇帝陛下の御大葬に參列せらるべき各國皇帝及び皇族は二十餘名なりと（十六日）

▲伏見宮の御出發　英國皇帝御大葬に御名代として御差遣の伏見宮殿下には來る十七日を以て巴里を御出發英國に向はせらるべし

▲元帥の國防報告　最近英領濠州に立寄り其の國防上の調査研究を遂げ日本に來遊し歸國したる英國元帥キッチナー將軍は該國防に關する詳細なる報告書を倫敦政府に提出したり（同上）

▲伏見若宮の御渡米　歐州各國御巡遊あらせられ目下御滯在中なる伏見若宮同妃殿下には英皇御大葬終了後來る二十七日英國御出發米國に御渡航大西洋にて北米合衆國各地を御巡遊約一箇月の御滯在後七月下旬桑港より御乘船八月下旬御歸朝あらせらるべし　同上

▲日英博覽會開る　日英博覽會は何等の儀式なく十四日開會せらる日本部は大に東洋の光華を發揚せり當日コンノート親王殿下には同博覽會の成効を祈る旨の祝電を發せられたり（同上）

安東縣電報

▲清國木杷の暴行　本日鴨綠江上流より歸來せし某氏の談に依れば十一日支那木杷四百余名集合し二手に別れ一隊は支那内地にありて他は韓國土城里附近に於て各銃器を以て韓人を脅迫し木材を奪取しつゝありと（同上）

雜報

故英帝の遙拜式

來る廿日英帝御大葬の當日當京城駐在英國總領事館主催にて遙拜式を擧行せらる由は既報せし所なるが當日は各領事館員其他日韓官民約八百名位參列を許さるゝ由にて式場には英領事館構内廣庭に天幕を張り之に充つべし當日は仁川碇泊中の英艦フロラー號より士官十名水兵百名入京參列すべし因に式場には武裝の水兵二十七名參列するを以て統監府に承認を申請し來れりと

石黒男の歡迎會

石塚總務長官は十九日午後七時半より石黒男歡迎會を統監邸に開催する由當日は左の諸氏陪賓として招待すと

大久保大將、閔宮相、朴内相、高度相、趙農相、李學相、李親衛府長官、尹侍從院卿、趙承寧府總官、倉富參與官、松永中將、大屋局長、小宮參與官、藤田軍醫官、榊原少將、石井少將、俵、松井の各參與官、明石少將、若林總監、菊池次官代理、國分參與官、市原總裁、鈴木次官代理、澤田局長、中山書記官、三浦理事官、木内軍醫正、前間通譯官、十時副官、入江書記官

國庫債權條例發布

韓國政府の國庫債權條例は十四日法律第五號を以て發布されたり今其の内容を見るに政府は財政上の必要に基き短期融通の目的を以て國庫債券を發行し無記名利札附にて元金償還の期限を五ヶ年以内とし償還の期限は起債の時に定め本債權が國庫の出納上歳計豫算の範圍内にて其の年度内に償還するものは割引を爲して發行し得ることを得と定めたり而して債權の利子は其の元金納濟の時其月十五日以前に至る者は翌日に支拂ふを爲し起債樣式、種類、償還年限、利子歩合、割引歩合、發行價額は度支部大臣之れを定め元利の支拂は韓國銀行にて取扱ふ筈にて何人に對しても賣買讓與を爲し得べく額面價額を以て政府に對し各種の保證金に代用することを得るのみならず租稅其他の公課に賦課せらるゝこと無き特權を有する者也

東拓營業報告（一）

明治四十二年四月一日より同四十三年三月三十一日に至る事業報告書、財產目錄、貸借對照表、損益計算書及利益金分配案を作成し茲に之を報告す

事業報告書

本社の事業は前年度に引續き鋭意其目的の遂行に努め漸次發展の域に在り左に項を別ち其概要を敘述す

第一項　土地の經營

本社事業の主たるものは土地の經營に存するを以て本社は事業の開始と共に第一に着手したるは所有地の整理經營なりとす而して本社所有の土地に二種あり一は韓國政府の出資に係るもの一は購買に依りて所得したるものなり而して他に韓國政府より將來の拂込みに換へ出資すべく豫定せらるゝものあり之れ日韓兩國政府の協定に基き本社は韓國政府と協議を遂げ貸借契約をなせる所謂貸借地なるものなり

出資地　韓國政府より第一回拂込金に對する出資地として當初に受領したるものは田畑各一千四百二十五町歩にして其當時同政府に交渉し他日本社か實地調査の結果必要ありと認むるときは他の土地と交換することを約し置き本年度の初より實地の引受に着手し本社員と所轄財務監督局員と實地立會の上之れが授受を開始したり然るに由來韓國に於ては一般に土地臺帳なく又地圖の存在せざるか爲め容易に其土地の所在を知るに苦み或は古老を集め或は舊記に徵して調査せざるを得ざるか如きことあり又奸譎の徒に欺かれて國有地を私有地なりと誤信し或は詐欺賣買認なるを知らずして國有地を買得し故障の申立を爲すものあり又は本社の眞意を誤解せるか如きものあり其他惡漢の爲にすることころあらんとし愚民を煽動して種々の難題を構へて引受上に不勤妨害を與へ爲に以外の日子を要したるも各種の障害を排除し數箇月に渉りて遂に實地の授受を了せり而して又實地踏査の結果は豫に受領したる土地の内交換を要するものあるを認め即ち京畿道仁川郡富平郡抱川郡永平郡に於ける畑八百十八町歩餘は之を黄海道載寧郡なる田四百五町歩と交換し黄海道黄州郡百三十二町歩平安南道平壌郡畑十三町歩は之を京城附近に於て同地積の畑と交換し又黄海道鳳山郡の田六百二十三町歩は之を其隣郡たる載寧郡に於ける同地積の田と交換を爲したり其結果現在の出資地面積並其所在は左の如し

出資引受地

道名	府郡名	田	畑	計
京畿道	漢城府	—	七四〇	七四〇
	仁川府	—	三〇七	三〇七
	富平郡	—	八六	八六
	抱川郡	—	三一	三一
	永平郡	—	三四	三四
計		—	一、一九八	一、一九八
慶尚南道	昌原府	二三八	八二	三二〇
	固城郡	二〇四	三三	二三七
	龍南郡	三一	三	三四
	泗川郡	一一〇	六	一一六
	東萊郡	一一	五	一六
計		五九四	一二九	七二三
黄海道	鳳山郡	六二三	—	六二三
	載寧郡	二〇七	—	二〇七
	黄州郡	—	一三三	一三三
計		八三〇	一三三	九六三
平安南道	（平壌郡）	—	一三	一三
總計		一、四二四	一、四七三	二、八九七

交換確定地

道名	府郡名	田	畑	計
京畿道	漢城府	—	四八五	四八五
	仁川府	—	—	—
	富平郡	—	—	—
	抱川郡	—	—	—
	永平郡	—	—	—
計		—	四八五	四八五
慶尚南道	昌原府	一三八	八二	二二〇
	固城郡	二〇四	二三	二二七
	龍南郡	三一	三	三四
	泗川郡	一一〇	六	一一六
	東萊郡	一一	五	一六
計		四九四	一一九	六一三
黄海道	鳳山郡	—	—	—
	載寧郡	一、三三五	—	一、三三五
	黄州郡	—	—	—
計		一、三三五	—	一、三三五
平安南道	（平壌郡）	—	—	—
總計		一、八二九	六〇四	二、四三三

備考　町以下の反別は切捨掲載す

●未勘金の撤廢運動　韓政府が保護協約締結以前の各年度に於て不正官吏が納稅金を橫領して國庫に納付せざるもの三百餘万圓あるを發見し現に其追徵を企て歳入豫算に編入しあるが當時は統監政治の威力尚ほ甚だ旺盛なりしと理の當然なりしとによりて唯々諾々維命維隨の觀ありしも爾來一年餘追徵の嚴苛を窘めたる彼れ不正官吏等は今更の如く統監政治の苛察なるに憤激し某元老を中心として寄り寄り反抗の協議を凝らしつゝあり今彼等が反抗の理由を聞くに元來維新前の行政組織は現在の如き秩序系統あるにあらずして官吏は一種の請負たりしなり則ち地方觀察使又は郡守は絶大なる權力を以て各其地方に臨み中央政府亦何等干渉を行ふなく極端なる放任主義を執れるものとて隨て其財政の如きも謂はゞ委任經理の形式なりしは何人も認むる處なり故に當時の官吏は稅金に對し公私の觀念を有せず之を私消せるも毫も非行と認めず經過せし偶々維新の革命に遭ひ十餘年前の追徵を命せられたるより非常の苦痛を感じ身を斬らるゝ思を爲せるもの數ふべからず左なきだに統監政治開始後は兎角苛察嚴酷を極め曾て官吏を常職とし公金に榮華を貪りし樂は夢の如く且つ生活の窮窟なる一定の俸給は遂に急激の變化を呈せるのみならず杓子定規の文明行政を以て切りに過去を責むるは洵に酷なりとて是非其撤廢を迫らんと言ふに在りと

●朱安塩田作業近況　朱安塩田工事に於て近頃最も喜ぶべき現象は韓婦女の出稼にして今其模樣を聞くに鹽田の主腦結晶池は先づ土底を棟均らし打堅めたる上玉石を敷設するものなるが此の作業は男子の頑丈なる指先よりも寧ろ婦女子の纖手に適し且つ貧困なる村落の婦女子に勞働を勸め閉居の風習を破ることは民力休養の助ともなるを以て度支部財源調査局朱安鹽田に於て之を勸誘せしに募に應ずる者三十余人夫は玉石打込み妻は玉石敷き並べ見は玉石運搬と一家三人竝んで勞働する者ありて今後益々增加する見込なりと云ふ因に一日の賃銀小見は八錢婦人は十九錢なりと云ふ而して採鹽斤量は五月十二日までの採鹽高六萬三千八百八十七斤にして此後天候の順調結晶池の竣成及び增設等の爲め更に益々增加すべき見込なりと云ふ

●仁川軍友團の總會　仁川軍友團春季大會を十五日桃山元守備隊跡にて催ふしたるが種々なる競技ありし後食卓に就き主客十分の滿足を表して散會せしが軍司令部よりは竹内副官、憲兵隊よりは杉山中尉來會せり

●大學出身者の主事　内部が今回任命せる警部主事中には八名の大學出身者あるが是等の人々は當分地方局に二名土木局に二名衞生局警務局及官房會計課文書課に各一名宛配置し事務練習を爲さしむべしと云ふ

●東洋協會學生採用　東洋協會學校今學期卒業生中より内部は地方主事六名を任用せるが右に對しては當分一定の事務を授けず各道に派遣して實地見習に從事せしめ相當熟練の後各郡へ配置する筈なりと

●山口高商生下仁　滯京中の山口高等商業學校生徒八十餘名は十七日午後一時四十分仁川驛着列車にて下仁する筈なるが民團及商業會議所は一行を倶樂部に招待して茶菓を饗應すべしと

●英國議員の入京　英國下院議員ヨージ、モンタギュー氏は日本觀光の歸途十六日入京數日間滯京の豫定なるが旅館はアストルハウスなりと云ふ

●紙商組合の設立　京龍間の同商は組合組織の必要を認め來り十五日商業會議所樓上に於て一同協議する處ありたるが近々其實施を見るべしと云ふ

●金物商組合組織　京龍金物商三十餘名は今回同商組合を組織し釘本藤次郎を會頭に推擧したり尚ほ同創設を期とし十五日奬忠壇に運動會を催せり

●食糧品組合披露　今回京城食糧品卸商組合成立したるを以て同組合にては十五日夜民長警察署長新聞記者通信社員等を清華亭に招待し盛宴を張る

●高度相の晚餐會　度支部大臣高永喜氏は十七日午後六時廣通館に於て各部高等官を招き晚餐會を開く筈なり

●敍任辭令　左の通り辭令ありたり

任土地調査局事務官　小野朔二郎
任内部繙譯官　六品　李範益
任度支部繙譯官主事　徐基殷

赤十字社支部大會彙報

▲石黒男入京　常議員男爵石黒忠悳氏は滿洲よりの歸途十七日午後開城出發同十七日午後六時五十二分南大門驛到着の筈なれば社員其の他有志者の多數出迎あらんことを當局者は希望し居れり尚男爵には二十二日迄滯京二十三日午前九時南大門驛より出發大邱に向ひ歸朝せらるゝ筈なり

▲入社の申込　有功社員（千圓以上の寄附者）特別社員（二百圓以上の寄附者）終身社員（二十五圓寄附者）の申込非常に多く己に特別社員は十八名に達せり右は當地有志者中村再造、淵上貞助、小川勝平の三氏專ら斡旋の衝に當りたる爲にて支部事務員亦勵めて正社員の募集に從事し居れり

▲式場の設備　統監府、理事廳、民團役所の赤十字關係吏員及準備委員近藤佐五郎氏等は十六日午前式場なる憲兵隊本部構内に至り會場の設備を爲せるが正門には大國旗を交叉し門内左右に休憩室を設け正面の小高き所に莊嚴なる式壇を飾り付け右に貴賓席特別社員席下段に社員席婦人席等をしつらひ正門より式壇迄の左右廣場に各種模擬店を設け四圍に幔幕を廻らし東方將校集會所の高地及落合川の附近にも模擬店を排へ滿場萬國旗を吊るす筈なれば當日の式場は頗る偉觀を極るならん序に當日は軍樂隊の奏樂の外餘興として中檢藝者の手踊等ある筈なり

▲出席の隨意　内地にて入社したるものにて未だ移籍の手續を了へざるものにても社員章佩用の向は何人に拘はらず當日出席妨げなく又招待を受けたるものにて出席の回答を爲さゞる向にても隨意參席勝手たるべく何れも奮つて參會あらんことを當局者は希望し居り

▲事務員の多忙　統監府、理事廳、民團役所其の他赤十字關係者一同は大會間近きことゝて晝夜頗る多忙を極めり

▲特別新社員　今回新に申込みたる特別社員にして既に確定したる氏名は左の如し尚此の外申込中のもの多數なり

（特別社員）韓國銀行水越理事、同三島太郎、第一銀行竹山純平、三井物產淺野長七、京城婦人病院長ドクトル工藤武城、贊化病院長古城梅溪、安東病院長安東貞一郎、齒科醫院長飯塚徹、民會議員釘本藤次郎、同前田熊市、同林田金次郎、商業會議所議員松浦源治、同近藤佐五郎、同白木德彌、龜屋進辰馬、丁子屋小林源六、元起業會社員西山吉兵衛

石黒男爵の入京

石黒男爵は豫定の如く十七日午後六時五十二分南大門着列車にて入京し藤田軍醫部長官舍に滯在せらるべしと

●龍山の水道布設期　龍山市内水道布設は民團及水道會社間に於て相互の主建齟齬し昨冬來兎角行惱の姿なりしが昨今に至り兩者交讓の意大に熟し會社は目下本國に照會中なれば遲くとも來月中旬迄には公式條約の交換を見るに至るべく就ては同方面の主幹鐵管は既に埋設を終へたる今日同約條結了の上は直に市街部に埋設の手筈にて勞會社側に於ても頗る遂行を急ぎ居れば同市給水は意外急速に運ばるゝならんと尚は一部有志間には會社側の强硬なるに慊焉たらず就ては近く竣成の貯水池の竣成を待ち同地より給水を仰がんとの意見もありしが京龍間の給水權は水道會社の特權に屬し尚は水管の漢口橫額を禁じ遂に沙汰止となりしも同民團が多少從來の主張を讓り安協の余地を興へしは右理由の他水道會社の底意を付り到底會社の永久的經營の意思なきを見拔きたるによると

●株式取引所委員會　既報株式取引所設立委員會は十四日商業會議所に於て開催され略決定を見るに至りしが決議に先ち一應發起人に協商の必要を認め更に十六日午後二時同所内に於て二名の發起人總代は同委員と會合すべき手筈なるが今の處委員會の決定は發起人側に於ても異議なかるべく尚ほ十六日は同會見後直に委員會を繼續し何等決定を見るに至るべしと

●榊原憲兵隊長歸任　去る十二日より南韓巡視中なる榊原憲兵隊長は右巡視を了し十六日午前太田發同午后南大門驛着歸任すべしと

●若林警視總監東上　若林警視總監は近々東上の筈なるが其用向は秘密にして知るを得ざるも蓋し重大なる要件を報告の爲なりと確聞す

●林東拓理事の歸任　先日安東縣に生じたる東拓漁業紛擾事件の爲め同地に急行したる林理事は事件の解決を了して十五日夜歸任せり

●山口高商生の入京　豫て報導したる山口高等商業學生一行八十余名は十四日入京原金に投宿せり

●富山京城典獄歸任　司法監獄事務打合の爲東上中の京城監獄典獄富山要太郎氏は十五日歸任せり

公人私人

▲橋本好顯（山口高等商業學校教授）十四日入京し原金旅館に投宿せり
▲木村重次（同上）同上
▲鈴木孫彥（同上）同上
▲久水三郎（元山理事官）同上釜山へ
▲四位義正（安城區裁判所判事）安城へ
▲中島盛彥（東亞煙草會社大連販賣所主任）同上巴城館に投宿せり
▲九鬼紋七（四日市會議所會頭）浦尾投
▲西口利平（同常議員）同上
▲橫永直治（同書記長）同上

寄書

京龍合併問題

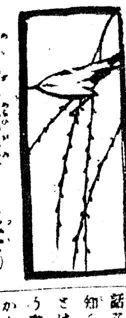
本町六丁目　田村義次郎

予は曩きに京城龍山兩民團合併に關し合併論者の其論議を公表せられんことを要求したるに民團議員曾我君は合併論者の一人として十四日の京城新報に書を寄せ氏の意見は調査委員會及協議會に於て發表しあるを以て更に之を新聞紙上に公示するの必要なし又之を新聞紙上に論議するときは議論極端に走り遂に京龍間の感情を害するに至るべきを以て本問題に限り新聞紙上に論議することを容赦せよと望まれたり予は其文を一讀し其意の有る所を捕捉するに苦むに依て左に問ふ所あらんとす

調査委員會及協議會は予等に其傍聽を許さず予等居留民は其内容に付て毫も之を聞知するの機會を有せざるなり故に曾我君の其意見は同會に於て既に發表しあるを以て更に之を新聞紙上に公示するの必要なしと說くは合併事件の如き居留民の利害休戚に關する重大なる問題に對し之を論議決定するは獨り民團議員の特權に屬し予等居留民の漫りに其間に容喙するを許すべきものにあらず隨て議員以外の人士に對して其說を公示するを要せずと主張するの意なるや新聞紙は文明の利器にして殊に代議政體の邦國に欠くべからざる用具なるに曾我君は其紙上に本問題を論議するは弊害あるに依り暫らく之を容赦せよと望まれたるは予の解せざる所なり紳士の體を以て互に其議論を上下せば豈に君の憂慮するが如き弊あらんや然れども暫らく一歩を讓り曾我君の說の如く新聞紙上に之を論議するは弊害あるものとせば如何なる方法を以て本問題を輿論に問はんとするか抑も亦た曾我君は之を輿論に問ふべきものにあらずと主張するの意なるや予は敢て曾我君に問ふ

▲治外法權▼

過日片瀨の別邸に於て城明け渡しの會議があつた、其光景は悲慘な者で道が平常物に頓着せぬ閔暮七君さへハンケチを絞つたツウだ▲城明け渡しと同時に起る問題は城内諸士の去就だ、思ふに今の開けた世に君君たらずと雖も臣臣たりなどと野暮に出掛けて殉死する蠢は居まい、京城の春の眺めは矢つ張りたつだ▲石塚長官代理はハリス博士と其他宣教師の頭株とを近日統監邸に招んで御馳走なさるソウだ、之は至極結構な事だ、併し何事も三日坊主ではダメだよ▲鎌倉の由井ケ濱でビスマーク公の第四子某が乃父の顏を其儘の毒滅の看板を見付け懷しいからと云つて買取つたツウだ之に付て面白い話は先年藥商が始めて毒滅の看板を掲げたときに在東京の獨逸公使は獨國の偉人比公の肖顏を梅毒の看板に用ゆるは不都合だと我外務省に向つて抗議を持出したツウだ、外務當局もチヨツト面喰つたが考へて見れば馬鹿馬鹿しくて堪らず宜加減な挨拶をして濟ましたソウだ▲目下開會中の韓國銀行支店長會議は中々振つて居る地方財界の重鎮諸君此處氣燄萬丈、或人曰く各支店長の人物何れも良し若し夫れ傑出者は平壤の中村と仁川の太田と▲ボストンに留學し世界を週遊した兪吉濬は觀光團長として東京に行き日本の事物の壯大には驚きましたなどとフザケて居る。



名妓洗髪のれ妻(三)

▽髪の毛を根元からプッツ
▽俺は間男は毛虫より嫌ひ

流石の頭さんも私の不貞腐れには呆れに呆れたと見えまして、あの洒落とした人が、丈にも餘る程な大きな刀を引拔いて、コラッと云つたまゝ一言も口を利かない、市村は縮み上つて了つて、其まゝツッと歸りましたが其後で私はウンと云はれました、ウンと云はれましたッて、頭さんの事ですから、言葉數が少ないでヂリ〳〵と攻め立てられたものです、私は口の利きやうがなかつた、一々道理に當るのですもの、あの時ばかりは實に〳〵困つたね、正當に當れる噓はないわ、ハイと云つたまゝ私が俯だれてると、頭さんはフッと掛髪のやうな事を云つたと思ふと、私が何にを思ふ暇もない間に私の髪の毛が根元からプッツリと剪られて了つた始末、私に一言の文句は言へないが、髪を剪られたばかりは驚きましたね▲然し頭さんと云へば私にや太刀打の出來ない役者が一枚上手な人ですから默つて其まゝ泣き寢入りになつてゐると、其翌る日に頭さんが前夜の事は忘れたやうな顔をしてツイと花の家へ來ました、來て私の前へ座ると共に、れ妻善く聞くが好い、れ前の亭主は……否さ、亭主のやうな男は市村だらう、俺れは首が千切れても間男は出來ない、然しれ前に市村といふ亭主があるとすれば、俺は誰が何んと云つても云はずとも知れた間男をしてゐるのだね、と云はれた時には底力のあるの頭さんの聲ですもの、私は身柱からゾッとばかり縮み上つて了ひましたね▲言葉數の少い頭さんが沈着拂つてドッカとばかり座り込んで話されたので、すから私は何とも云ひやうがないので只もう默つて俯いてゐました、頭さんは、れ妻れ前は大抵俺の氣風は呑込んでゐるだらうね、俺は毛虫よりも間男が嫌いだ、市村といふものがれ前にあつて、亭主同様にしてゐるのなら、其れは夫れでも好いが、其れなら何故一言俺に此々で市村とは分れられぬと云はないのだ、俺がれ前に市村といふものがある事を知つてゐての話ならば、間男ちや無い俺の酔狂だよ、知らぬ間に俺を忌々しい罪に陥れるかさは、少し辛くはないかねと言つたやうな調子で、攻め立てられたものですから、私か仕方がない、其上髪は剪られてゐるのですからお座敷へは出る事も出來ないのですし、例へ前髪れ妻で稼業がなつた處が、頭さんには實に〳〵濟まぬと其折ばかりは眞實にれ腹の底から思ひましたよ▲此の上は只もう〳〵詫び入つて了ふ外がないと思つて、兩手を支いて疊の目を數へんばかりにして一向詫りに詫りました。

巧妙なる貯金騙取

▽仁川署刑事に捕はる

大阪市東區平野町當時住所不定の高橋辰郎(三七)と云ふは京城の某所にて通信管理局スタンプ及郵便爲替貯金拂戻に要する官印全部を僞造し三月一日東大門郵便所にて開城山本秀次外六名の名前にて各別々に十錢二十錢宛の郵便貯金を預入れ其の通帳を得るや其れに虚僞の預入金額を記入し前記の僞印を押捺し四月三十日南大門郵便局より右通帳を以て九十圓を騙取し尙ほ本町四丁目の郵便所にても同様の手段を以て百二十圓を騙取し其の金は大和町梅の家にて雪、春、米山等の酌婦を揚げ壽座等に芝居見物を爲し其他明月等にて散財し之を費消せし揚句去る十四日仁川に下り花町郵便所より貯金通帳七冊を同じく京町派出所よりも同通帳七冊を各別個の人の名前にて受取り前記の如く仁川郵便局より多額の金員を騙取せんと目論見たるが之より先き仁川署刑事係は其筋の内報に依り去る十四日午後二時過ぎ紐峴驛に於て同人を取押へ目下野村警部の手にて嚴重に取調中なるが其犯罪手段は頗る巧妙にして其筋の人も顔色なかりしと云ふ

彗星接近と韓人

▽人心日に恟々たり

ハレー彗星は愈々十八日を以て地球に接近し同星尾曳の瓦斯は東半球全体を拂去るべしとの説韓人間に傳へられし以來一般の恐怖一方ならず短き前途を悲觀する者智愚の別なく絶望の余り財寶を蕩盡して余日幾千もなき發生の快樂を貪り尙は余資ある者は畢家西洋に避難を企つる者ある等今や到る處彗星は一般恐怖の度を高め貴賤老幼打跳を以て充たされ時々刻々に迫る危期は益混じ今は唯た數日の餘命を卿つばかりの変なるが民心動亂の極遂に危險なる狂態を演出する事あらんかと憂慮する人も鮮からずといふ

旭町の劇薬自殺

▽原因は精神に異情

十一日午前十時頃旭町一丁目に婦人の自殺者ありたるが今聞き得たる所を記せんに自殺者は原籍愛知縣越智郡瀬戸崎村大字廿崎平民當時旭町一丁目八十八統八戸桶職村上石太郎妻村上たね(三二)にしてたねは五年前産後の經過不良よりしてヒステリー性に罹り時々發症するより石太郎は常に心配し氣掛りに堪へざりしが本年二月渡韓することゝなりし當時都合上愛兒を親元に預け置きしより常に故郷の事のみ考へ憂鬱に沈み居りしが此頃は殊に病氣募りし様子なりし石太郎居宅は構内數戸温突を連ね便所炊事場等は共同に爲し居れるものなるが石太郎が便所より歸りたるとき寢室に於てたねが非常に苦悶し居るより驚き附近の醫士を招き應急手當を爲したるも遂に絶命せしが原因は精神に異狀を生じ隣家小路吉太郎方の石炭酸凡そ百瓦入瓶炊事場にありしを取り出し服用したる者にて絶命の當時泡沫を噴き出し居りたりと

●小遣に窮して枕探

▽京城からの歸途門司にて

去十日夜十二時半頃關釜連絡船薩摩丸にて門司に上陸し港町兒玉旅館に宿泊せるは東京京橋區三十間堀二丁目林れ繁の娘れ貞(十八)熊本縣長洲町生れ松永鎚藏妻れ美代(三八)同八子供三人にて同室に寢たるが翌朝れ美代が枕下に置きたる金十五圓餘及乘車切符等入の財布紛失し居るより大騒ぎとなり門司水上署の中村刑事出張し嫌疑者としてれ貞を同署に連込み取調べたるに飛でもない私が他人の物を盗むものですかと濟し込み居たるが同署にて出發地より同署宛れ貞は出發する際僅に二十圓を所持したるのみとの電報ありたれば現在の所持金を調べしに十八圓計りありしかば乘車切符其他の費用十七圓餘を費したりとすれば二圓餘の剰金のみの筈なるに十八圓餘を所持するは愈不審なりと嚴重取調べられれ貞は遂に包み切れずれ美代のものを竊取したる旨自狀したれは十三日檢事局送りとなりたる由なるが右林ていは當京城に於て酌婦稼業中都合ありて今回歸京の途次小遣錢に窮乏したるより右の始末に及びたるものなりと

●滑稽振られ韓男

北部順化坊司宰監契白狗洞朴水煥(二三)は同洞安敬西の娘安姓女(十五)を女房に貰ひ受くる約束纏り先方に結納金二十圓支拂ひ自分にも衣服等も新調し且つ女房にもと二三枚新調し五六十圓を費消したるに突然安敬西より破談申込たるより憤慨して北署に說諭如提起せしより双方取調べたるに安の方にては娘の安姓が朴の様な男は斷然いやさと云ふより破談申込たる次第なりと中立朴は五六十圓の損害を請求したるも示談にすべしさて朴を論し双方歸還せしめたり



女振り

たからか牛肉店主　川島もよ女

たからか牛肉店と云ふのは本町一丁目三巴酒店の前にある、もよ女は其家の女主人である、生れは長崎縣で蚤く亭主に死別れたので遺記念の今年十二になる男の子を兩親に托して一旗揚げんとの希望を抱いて渡濟したのは三十七八年の交であつたが格別の甘い事にも出會さぬ間に大連の請負師の手代であつた越中生れの實勝と云ふ人の女房となることになつた暫時は大連で暮して居たが面白くないので四十年に仁川へ渡つて實勝君は相變らず何組かの手代を仕て居たが何日迄も此様事をして居ても詰らんと云ふので四十一年中明治町の石田力松君の後見の下に前記の箇所に精肉小賣業を開店した、好い鹽梅に商賣は繁昌する、もよ女の經濟の取り方は上手いし少々の金には不自由のない様になつた四十二年六月實勝君は福岡病院に入院し超へて八月遂に同病院で死亡したのである、併し明治町の石田力松君の周到なる後見があるので閉店の厄は免るゝ事が出來た、もよ女は色白のムッチリと肥れた行も丈も揃つた美人で年よりは三つ四つは若く見へるが眞實は三十一である、れ世辭は宜し家政は上手鬼に金棒とは此の事であらふ、公然石田力松君の内儀となることになり日の丸旅館で盛大なる披露宴を開いたのは昨年の十月と記臆する、過日七月で流産したのだが別段疲勞の體も見へない。

●日本名代の箱乘

仁川金村旅館に宿泊せし怪しき男あるを仁川署の刑事の手にて取押へ取調べしに宿帳に記載せる廣島縣廣島市大手町洋服商藤井友作(四五)とは眞赤な僞實の處は通名小市事益田太作と云へる日本内地にて有名なる箱乘にして掏模仲間にては兄貴として立てらるゝ奴なる事判明せしかど被害者なき爲め十五日之れを放免せしに同日彼れは仁川驛より二番列車に飛乘り紐峴驛迄の間にて早くも或婦人の懷中より掏り取りヒラリと下車せんとする處を仁川署刑事の手に取押へられ目下取調中なりと

●家賃支拂說諭願

此頃の不景氣に家賃なんぞ滿足に拂つて堪るものかと云つたか何うか其所迄は保證も出來兼るが本町一丁目の代書業者田中將乘、本多貞策の兩人は孰れも旭町の三好和三郎氏の貸家を借宅し居るものなるが田中は昨年十二月以降の家賃百五十餘圓を本多は九十餘圓を幾度督促に行つても瓢簞で鯰を壓へた同様ヌラリクラリと一向要領を得ざるのみか此の程に至りては不在を使つて面會だにさせざるより三好方にても持て餘し去る十一日南部署へ說諭方願出でたりと

●乘掛け騒ぎ二件

本町五丁目松尾牛乳店員立元英吉(二二)は古市町より歸途御成町へ曲らんとする際往來頻繁なりし爲め車を止める遑なくして本町壽館帳場石田傳吉妻むつ(五七)に乘り掛け膝頭に負傷せしめ衣服を引き破りしより損害金三圓支出して事濟み▲永樂町二丁目芥本庄太郎長男四郎(十二)は自轉車を韓童點乙(八つ)に乘り掛け御目玉にて事濟み

●韓人の毒藥自殺

十四日午前十一時北部延思坊水麻洞舊軍部所管墓地に變死者ありとの報に接し北部署より警官及醫士現場に出張し檢視したるに四十前後の韓人にして毒藥を服して死亡せし者ならんと死体は洞長金興化に埋葬せしめたりと

●二酌婦のドロン

南大門外御成町料理屋朝日屋抱酌婦廣島縣人廣瀬つたゑ(二四)和歌山縣人北わさ(二三)は十四日定規健康診斷に行くと家出の儘歸家せず行衛不明の爲め抱主山本わりより西署に捜査願差出せり

●韓二等卒の亂暴

親衞府第三中隊三番二等卒鄭永植(三七)は十五日午後六時頃吉野町に於て金聖三(二七)と喧嘩し格闘を起し西部署巡査より本町憲兵分遣所に引渡され同所にて說諭放還

●往來へ小便を撒布

南大門通り小公洞角紙商金審弼方韓釜十六日午前十一時頃二升も入るべき便器に溜る〻を路傍の小便を自宅前街路電柱傍へ撒布したるが時節柄險呑千萬の事と云ふべし

●日韓寺の觀音講

花園町曹洞宗日韓禪寺にては例月の通り十七日午後一時より觀音講說教拜に詠歌等あり講員は勿論其他の參拜を望むと

目と耳

▲歌舞伎座　同座十七日の代り藝題は木村一流壽婦劇『三日月れ六』にして重なる記役は左の如し

娼妓櫻木(君子)幼年のれ六(萍華)妹とみ(靜子)せよ(豐子)仲居たき(石井)水夫(千葉)百姓(千代田)犬山三郎(渡邊)子分(岡村)三太(高田)もん(村山)妓夫寅助(内田)下女(奥山)女中(楠)母かな(福澤)野毛甚吉(富士井)下女(小出)近藤勇(榎本)川口六造(寺田)下女(東)狸の三次(三好)娼妓小紫(白石)とし(廣瀬)肴屋新助(桃井)娼妓白菊、實は三日月れ六(木村)

▲浪花館　十七日の演し物左の如し

地獄八景(若三郎)無峯　若明　銚子ノ替り目(圓三)向フ付ケ(笑三)打かひ盜人(文酉)寄劇毎夜替り(座員總出)厩焼失(若遊三)大切所作事電氣應用

▲京城座　京城座にては今回内部に大修繕を施し道具其他の改造若くは增設せるもの少からず今後も續いて全体の改革に勤め漸時劇場として完全せしむ可く貴紳士の來場にも差支へなからしめ殊に近來韓内地に於ける俳優の風紀墮落せるを矯正する目的にて近々新派劇矯正成美隊を聘し年中劇へ雨天の日とても休みなく開演入場料は棧敷出孫を除く外一人金二十五錢均一とすべしと斯くの如きは當地梨園界の爲め喜ぶべき事と云ふべし

廓のうわさ

前便に申上候皆春樓の時子は生國は東京にて年は二十二本名は岩井ときと申し候由にて今一人は白下身代金大枚千兩にて種々交渉中の由に御座候▲新町遊廓藝妓中腕の達者なるは京城樓のれ金南山樓の梅玉皆春樓の愉快島島屋の仇吉位の所にて猶其の内にても一番達者なのが年若の愉快次がれ金の順なりとは最負客のうわさに候へば必ずしも當には成り不申候▲辻占賣りの曰く私共の上得意はれ茶挽き樓吾々は常にれ稲荷様にれ願ひ申し先生なり故にれ茶挽賣れ殘りつ妓の多て居りますさ、其樓顯ひを掛けられてる事とは知らずに涙交りの欠伸を嚙み殺して居る妓輩は可憐相に御座候▲第一樓支店の主人れ妾どんのれ氣に入りの仲居千代と云ふは妓夫の政公と仲好しに自分の氣に入らぬ娼妓は共謀して客に廻さぬポチの強請する等の不埒働き收入百圓以上に及ぶ由なるに亭主の田口に人力車挽きを致させ自分は京城座の馬の脚を摑み居候▲高島屋の小富のことを報告致したるにいゝ付き立聞生なる人より記者は小富にふられたのかと申し越されたるも小子更らに心當り無之候間御安心被下度候匆々(升遊)

今日の運勢

五月十七日舊四月八日一白　大安　壬午　除△一白●盜難の恐れあり旅行船行を忌む△二黒●新事見合せの事苦勞多き日競爭中傷を受くる恐れあり賊害相談婚姻新事に不利△三碧●婚姻共同組合養子の事談に忌む解決中裁旅行に如し新事見合△四綠●不和離間起り易し其他會心の日なり散財出捐の恐れあり△五黄●不振の日新事見合せの事盜害退失防ぐべし△六白●靜寧の日なり大抵吉不和衝突を戒しむ△七赤●親族の事に勞苦煩累あらん其外吉建築木工に忌む△八白●塞蹇多し示談中裁貸借金錢婚姻養子共同組合の事談に不利新事見合せの事△九紫●不統一の日新事婚姻養子相談協合に不利農林業に吉(本町三一館判斷)

●天氣豫報

自十六日午後六時至十七日午後六時

西風晴

十五日(華氏)　最高溫度七九、二　最低溫度五二、九

廣告

眼科専門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
前廣城病院眼科部長
醫學得業士 江頭富雄
（電話三三）

中島醫院
入院隨意
京城櫻町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士
中島貞信

足袋 醬油
麻裏 和洋酒雜貨 販賣
龍山元町三丁目（電話三一九番）
中谷商店

拔齋流割烹
歌舞伎辨當
材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
南山町一丁目（電話一五〇二番）
すし はま孫
出前の儀は電話又は一報次第即刻持参可致申候

入院隨意
内外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

美術半襟帯締其他組類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり德商店

開業
代書仲介
今般小川法律事務所ヲ辭シ左記ノ處ニ事務所ヲ設ケ普ク代書仲介ノ御依頼ニ應シ可申候
京城本町一丁目理事廳前（藤屋旅館隣）
林久米藏信託事務所
（電話六七三番）
事務員 寺井弘

㊈時好品案内
關戸 かや
わた
和洋 太物
●かやは關戸蚊帳株式會社韓國一手特約品なり
●綿は廣島製綿工場特約品なり
其他御誂の需めに應ず
●銘仙類各種
●新浴衣地
●珍柄友禪其他反物一切
●麻布團地其他麻物類各種
●本場久留米絣
●珍柄手織木綿各種
●やま九夏足袋
京城本町二丁目（憲兵隊前）
㊈やま九商店
電話四八三番
京城本町五丁目（壽座入口角）
㊈やま九出張店
豫告來る二十四日より祝開業一週年併せて時好品割引大賣出し可仕候

御披露
大世間俄に春めきて蝶々は咲き匂ふ百花に狂ひ大方の粹樣方には一山超へて新町遊廓は解語の花に戯れ玉ふ年中の好季節になりましたので樓盤の別れを惜み歸へらせ玉ふ粹樣方の御便宜を圖り今回美をつくし清を極めたる風呂場を新築毎朝午前六時より浴場を開き一風呂サッと移り香を流させ玉ふ其の間に湯豆腐、酢の物、椀の物御好みに應じ極めて輕便に三府流の粹をぬきたる一品料理を調へ御愛顧に酬ひ奉り升夫れと
鰻丼（上等三十五錢）
親子丼（上等三十錢）
何時にても御注文に應じ又た出前も致し升が特に宴會は十二分に勉强老雛御好みに應じ數々の内藝妓も侍らせて御輿を添へ其他碁、將棋、加留多等も一切取揃へましたれば隔てなき御友達又は御家族打ち連れての御光來を偏に奉願升
大和町三丁目
電話七三五
梅の家

胃腸新藥
メカヂアスタヌーゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

蜂印香竄葡萄酒



本品は日本の標準葡萄酒として内外大博覽會より二十四個の金銀賞牌を受領せり
近藤利兵衞

一㙒毛生液
いちびんけはゑくすり
（効能）
●禿頭病
●脱毛病
●はゑぎは
●まゆげひげ
●局部不毛
（定價）
大瓶壹圓
小瓶五十錢
郵税三十錢
最も有り觸の毛はゑ藥と違ひ奏効確實にして疑なし通常は五十日間脱毛者は三十日間を限り必ず發毛を保證す
大阪西區梅本町
大渉橋西詰南入
島村新
電西二八四六番

本舖 大阪東區北久寶寺町
津村順天堂

中將湯
産前 産後
月經不順
血の道
逆上 頭痛
冷
子宮病
十年の血の道
三週間に全治す

洋食をはじめました
◎西洋御料理
◎會席御料理
◎藝妓と仲居
◎仕出し辨當
◎階上の凉臺
此のたび西洋料理を開業いたし專門のコックを招き衛生と廉價とを旨とし調進可仕候
會席日本御料理は元東京紅葉館の板前を聘し美味と御手輕さを專一に御用を相可承候
藝妓と仲居は氣の利きたる者のみを選び御客樣の御機嫌に相叶ふ樣取計らひ可申候
仕出しは弊店獨特の新案に一層改良を加へ山行きの御辨當杯は特に輕便に御用可承候
階上には夏季の御用として凉み臺をしつらへ御多人數の御集會にも差支なき樣致居候
右時節柄衛生を旨とし且つ萬事輕便に取計ひ可申候
京城長谷川町二丁目
電話一〇四三番
末廣

金魚各種 卸小賣
龍山山下町二丁目（兵器支廠官舍入口）
陸軍御用達 馬木勇吉本店
電話三六四番
京城本町五丁目一番戸角
茶器商 馬木勇吉支店
電話四七一番

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
學校衛生用品調進
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
大阪東山盛合資會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 十番地電話新橋三六九二

東京火災 海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●
京城代辨店 本町四 山口吳服店電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

内外科 花柳病
入院隨意
京城南大門外
戸田病院
電話九三八番

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

名古屋衛生牛乳
（dark box, handwritten lettering: 名古屋衛生牛… 新聞及表装 調進 … 明治町壹丁目 … 太郎 … 番）

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一（電話一二五五番）

大上商店
特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
支那白菜漬
朝鮮薬葉漬 大賣出し
（電話二五一番）

★株式會社百三十銀行 韓國京城支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、高崎、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取
山陽道 米子、境、松江、久手、大田、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣
清國 營州、向州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

⊹株式會社十八銀行京城支店
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
（電話四二〇）
本店 長崎市樂町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、佐世保、五島、熊本、鹿原
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及浦鹽に爲替取引先あり
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢一厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

馬車配達
●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番

（dark box, handwritten lettering: …牛乳 …井牧場 電話…五六番）